

エビの分類

同じエビ型をしていても、クルマエビの仲間とイセエビやザリガニなどはまったく異なるグループです。

エビ・カニ・ヤドカリは十脚類じゅっつきやくるいというグループに含まれます。いずれも私たちになじみ深い生き物です。ところが、このエビ・カニ・ヤドカリという分け方は、実は正確ではありません。

十脚目に含まれる生き物をグループ分けしていくと、「クルマエビの仲間こんさい（根鰓類）」と「その他ほうらん（抱卵類）」に分けられます。なんと、同じエビ形をしている生き物でも、イセエビやオトヒメエビなどは、クルマエビよりもどちらかというヤドカリやカニに近いのです。

二つのグループ間で異なる特徴の一つに、卵の産み方があります。クルマエビの仲間が卵を水中に直接放すのに対し、その他のエビ・カニはすべて、腹部に卵をふかだいて、卵が孵化するまで守ります。

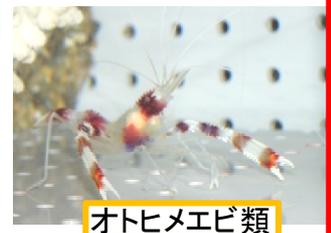
卵を守るほうが生き残りに有利だったのか、現在では、根鰓類に比べて、抱卵類のほうがより多様に進化しています。

十脚類(エビ・カニ)をグループ分けすると...

こんさい
根鰓類
(卵をだかないグループ)



ほうらん
抱卵類
(卵をだくグループ)



「エビ」と名前がついていても、イセエビやオトヒメエビなどは、クルマエビよりもどちらかというカニやヤドカリに近い